

挑戦 伝統の「みそ造り」

県内若手宗教者と奈女大生

奈良の食文化体験

県内の若手宗教者と奈良女子大学生によるみそ造りが6日、奈良市北魚屋東町の同大で行われ、3団体から約20人が参加した。かつて各寺社や家庭で造られていたみそを自分で手作りする体験を通し

て、伝統の食文化に対する意識を高めようと企画。同大の学生でつくる「奈良の食プロジェクト」と若手宗教者の共催が実現した。

良法幹事長と県内の神社の若手神職でつくる県神道青年会（大月智会長）が年に1度開催している合同例会で、同大の調理施設を会場として使用しよう

と企画したのがきっかけとなった。豊沢酒造（奈良市）の桜井大貴さん（41）が指導を担当。材料調達をはじめ、みそ造り全般についてアドバイ

スした。参加者は前夜から約18時間水に浸した大豆40キを柔らかくゆで、

塩麴を混ぜるなど熱心に活動。約80キのみそを仕込んだ。みそは各



和気あいあいとみそ造りに挑戦する参加者＝6日、奈良市北魚屋東町の奈良女子大学

国家安泰、人々の幸せを祈る神職と僧侶が交流の場を持つのは良

いこと、高田幹事長とのコラボレーション

が、奈良の食文化への意識を盛り上げる一助となればうれしいとそれぞれ話した。

奈良で木簡学会開幕

きょう 全国の研究者ら報告

ことし国内で出土した木簡について報告、検討する木簡学会の第

36回研究会が6日、奈良市佐紀町の奈良文化財研究所平城宮跡資

料館で始まり、全国の研究者ら約150人が参加した。きょう7日

まで。

一般公開は行われな

い。高妻洋成・奈良文化財研究所保存修復研究室長が、木簡など木製遺物の保存についての研究成果を報告した。出土した木製遺物は乾燥を防ぐために保存処理の着手まで水中で